

OKI MICROLINE VINCI c941dn 用転写紙

トリミング転写紙ご使用への手引書

目次

はじめに

1. トリミング転写紙へのご理解
2. トリミング転写紙の特性
3. トリミング時のポイントまとめ
4. 布地へ転写する際のポイントまとめ

2023年7月
有限会社コーアテクノア
企画部



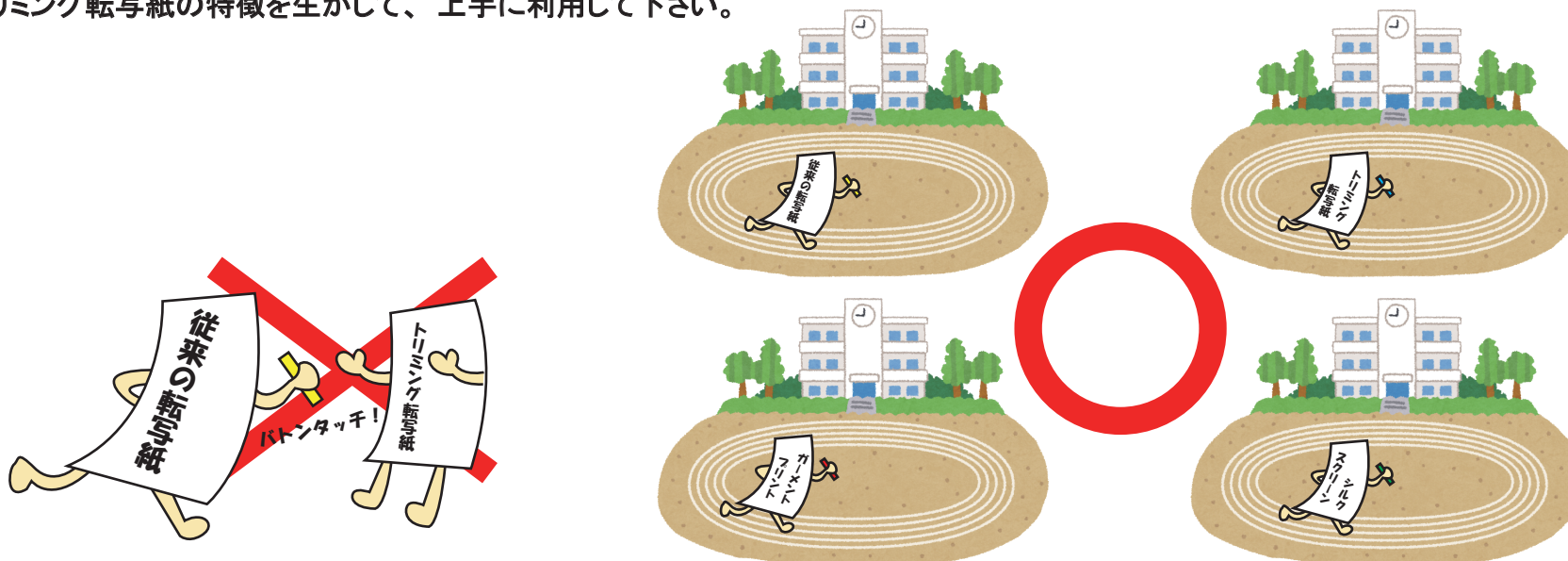
はじめに

この度は、OKI MICRO LINE c941dn専用トリミング転写紙にご興味を持って頂き、誠に有難うございます。
本書は、トリミング転写紙とはなに？使いこなすにはどういう工夫が必要なの？なんでうまく出来ないの？というお客様の声を元に、疑問点への回答や、弊社からご提案出来る工夫点、改善方法をまとめたものです。
一般的な工業的用途について、「製品の適切な取り扱い」を確保するための参考資料としてご提供するものですので、保証書ではございません。
本書をご参考にして頂き、お客様のお取り扱い頂く環境・用途に応じた適切な使用方法をお取りくださいますよう、お願い申し上げます。

1. トリミング転写紙へのご理解

トリミング転写紙をご説明する際に、比較対象として従来の転写紙（ラバー転写紙や・プリンタ出力後カッティングプロッターでカットを行うタイプの転写紙）やその他技法とのお話をさせて頂くことが良くありますが、これは出力からプリントまでの手順の比較であり、仕上がりの状態・発色、伸びへの強度などの、物性比較では無いことをご理解ください。
従来の転写紙とは特性が全く異なり、トリミング転写紙には、トリミング転写紙の特性がございます。

従来の転写紙や技法の代替え商品では無く、トリミング転写紙は全く新しいジャンルの独立した商品です。
トリミング転写紙の特徴を生かして、上手に利用して下さい。



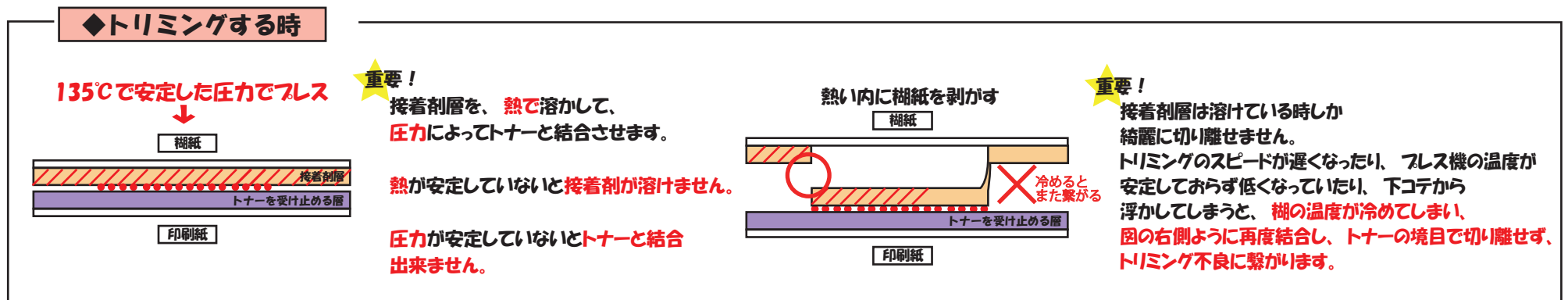
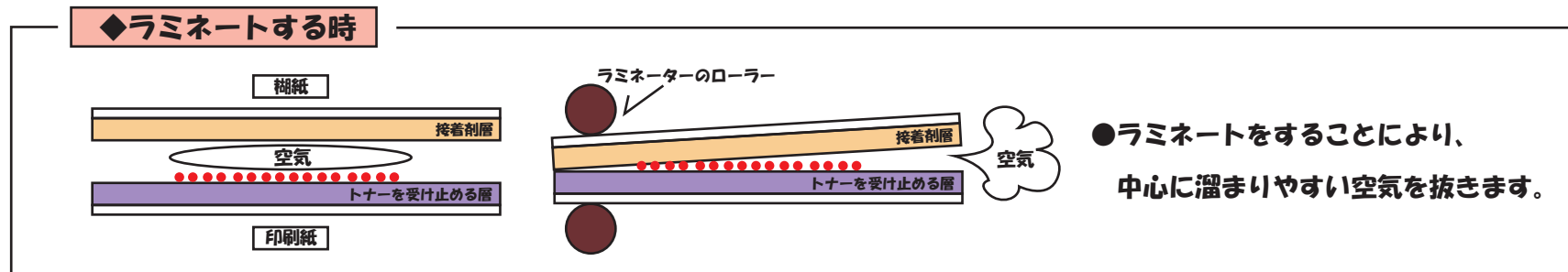
取って代わる商品では無く、

それぞれの特性・特徴を持った商品である！

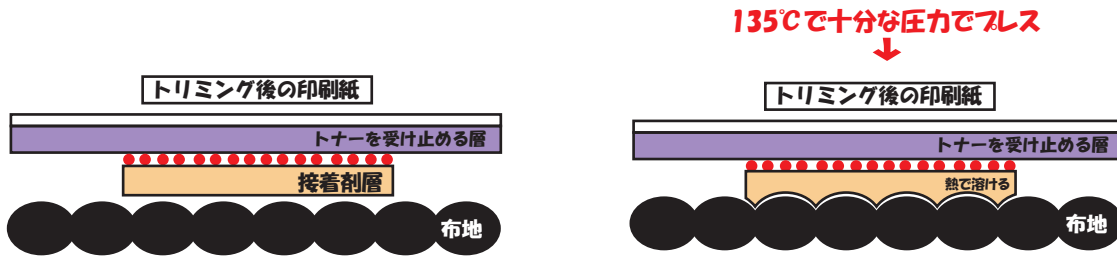
2. トリミング転写紙の特性

トリミング転写紙は2枚の転写紙を使用し、プリントしたい部分を瞬時にトリミング出来る転写紙です。
 熱を加えることにより、糊紙から印刷紙へ移動し、印刷紙からプリント媒体へと移動します。
 中間転写体を介して、糊が移動する特殊な構造ですので、**安定した熱量と、安定した圧力が必要不可欠です。**
 また、この特殊な構造をご理解頂いたうえで利用頂くことにより、不良が出た場合に迅速に対応可能となっていきます。
 熱プレスの時の転写紙の様子をご覧いただき、特性をご理解下さい。

【手順と転写紙の様子】



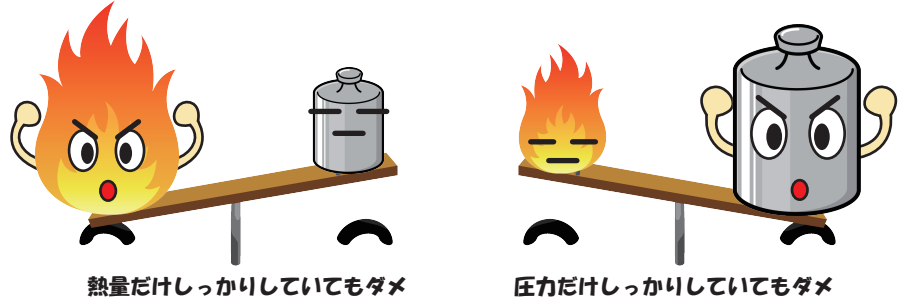
◆Tシャツにプリントする時



重要!
 接着剤層を、**熱**で溶かして、
圧力によって生地目の奥まで押し込みます。
 熱が安定していないと**接着剤が溶けません**。
 圧力が安定していないと**生地目に入り込みません**。

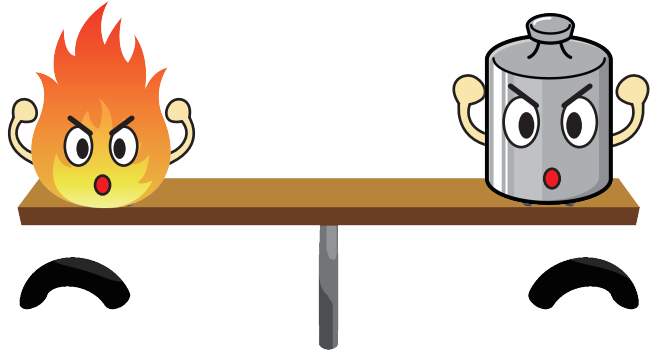
トリミング転写紙には**安定した熱量**と、**安定した圧力**が重要ということがお分かりいただけましたでしょうか？

温度の設定、管理をしっかりと行って頂き、圧力が均一に、しっかりと加わっているかどうかを確認しながら作業を行って頂く必要があります。



熱量だけしっかりしていてもダメ

圧力だけしっかりしていてもダメ



熱量と圧力、両者のバランスが大事★

推奨ヒートプレス機

TP-700A

油圧オート式で安全性を追求したプレス機の決定版

- ・下ゴテが垂直に上昇するため、プレス面の温度・プレス圧が均一
- ・安全性を重視し、左右の両ボタンと下ゴテの定位置で作動
- ・リセット作動機能搭載
- ・油圧一体型で従来の外づけのコンプレッサー等がなく経済性、機能性に加え、デジタル温度表示機能搭載
- ・乾燥タイマーとプレスタイマーをセパレート表示
- ・オプションで3タイプの下ゴテがスムーズに交換可能

仕様

大きさ	縦790×横480×高530mm
プレス面	縦450×横400mm
圧力	500kg(最大)
温度範囲	100℃～220℃
重量	83kg
定格	100V 12A 1200W
価格	583,000円(税込み価格)



3. トリミング時のポイントまとめ

まず、トリミング転写紙をご使用頂くにあたって、転写に適したプレス機とはどんなプレス機かを知って頂き、既存のプレス機での加工を行う場合、こういった個性を持っているか測定して予めご理解頂く必要があります。
必要であれば別売りの**ヒートバリア**や**ラバースポンジマット**を使い分けて頂きます。

プレス機の上コテの形状に関して

— 今までのプレス機に関する考え方

例



◆周囲から押さえて固定し、最後に真中をプレスする。



注意

中心が最後にプレスされるため、圧力が一番弱くかかることになります。また、中心に空気も溜まりやすく、トリミング不良が起きやすいです。

— トリミング転写に適しているプレス機の形状

例

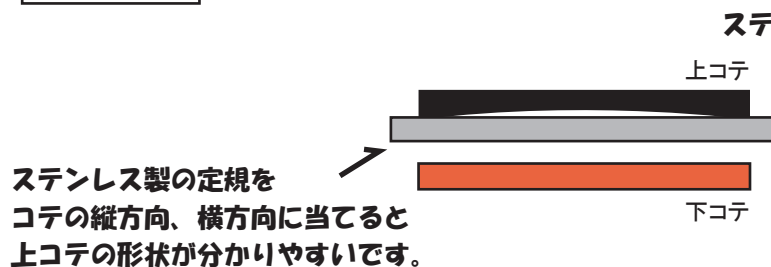


◆真ん中から押さえて、空気を抜きながら全体をプレスする



空気を外へ押し出しながらプレスを行うので、中心に空気が溜まりにくく転写紙に適しています。

計測の仕方



ステンレス製の定規



ラバースポンジマットを下コテの上に置いて作業を行う頂くことにより、トリミング不良が出にくくなります。

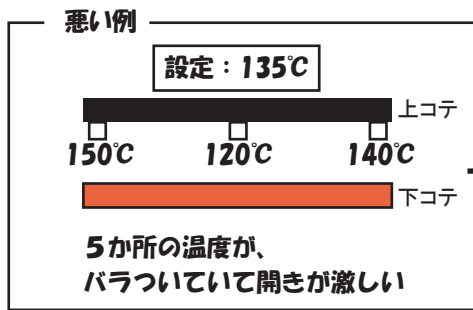
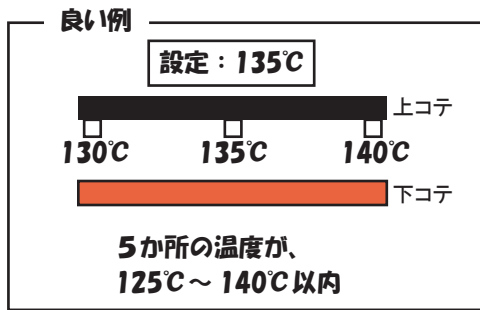
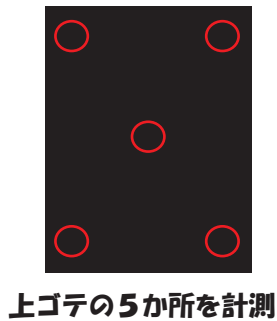


ただし、左の図のような上コテ形状の場合、**加工可能サイズはA4まで**となりますのでご了承ください。

★ プレス機の上コテの温度に関して

— 温度は直接上コテの温度を測らないと分からない！ —

プレス機の設定表記などで確認をしていますが、実際の温度を測ると表示温度と全く違うというケースがあります。
必ず上コテの実温を計測し、適した温度でトリミング転写紙をご使用ください。



一番上にヒートバリアを置いて作業を行って頂くことにより、温度が均一に伝わりやすくなります。
※その場合、通常マニュアルに10秒ずつプレス。



— 復帰直前と復帰後の温度の幅が悪影響を及ぼす場合も —

プレス機は家庭用のアイロンと同じで、ある程度の温度まで下がると、温度を復帰させようと再度コテを温め始めます。
この復帰前と復帰後の温度の開きが大きいと、トリミング不良に繋がる可能性があるため、しっかりと観察することが大切です。

弊社推奨測定器



シンワ測定 放射温度計 A
ミニ時計機能付き 73009



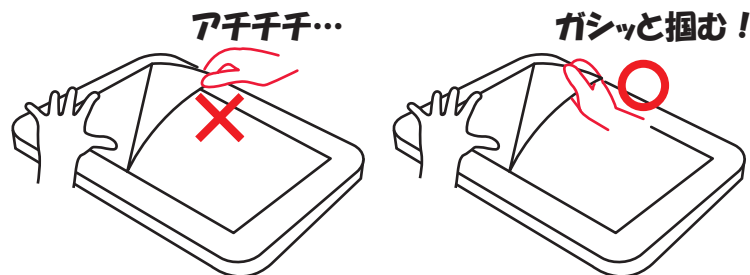
理化学工業 ハンディタイプ温度計
※直接上コテに当てて温度を計測出来るため、非常に正確です。

次にトリミングのポイントです。

まずは下ゴテを温める

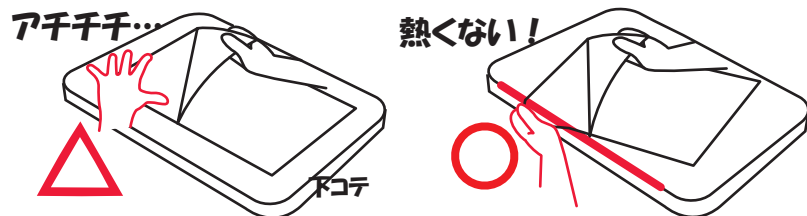
POINT! 転写紙のトリミングを始める前に、まず最初に何も乗せない状態でプレスを行い、下ゴテを温めてから作業を始めて下さい。
下ゴテが冷えている状態だと、トリミング不良に繋がりがやすくなります。

つまむのではなく、つかむ



POINT!
トリミングをするとき、熱くてWCL2i側をつまんでしまうことがあります。そうすると紙が折れやすくなったり、破れやすくなったりしてしまい、トリミング不良に繋がりがやすくなります。

熱くても急がない。熱ければ少しめくってコテの外に手を非難させる



POINT!
急いでめくってしまうと、隙間に糊が残りがやすく、不良に繋がりがやすくなります。押さええている方の手が熱い場合は、少しめくってから下ゴテの外に出し、下方方向に押さえ付けます。そうすることで用紙の動きをロックでき、手も熱くありません。

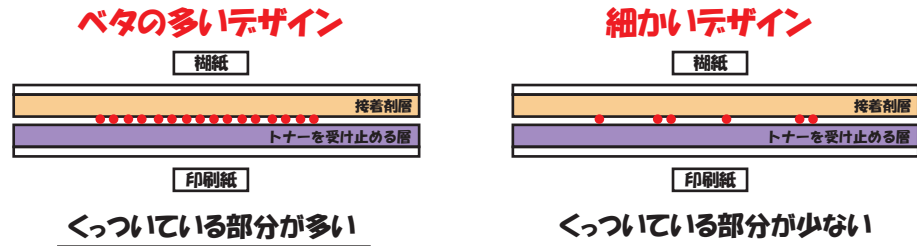
押さええている手もスライドさせるとスムーズに



下ゴテのこの辺を利用すると、トリミングが楽になります。

POINT!
タイミングに慣れてきたら、押さえつける手を外側下にスライドさせながらめくると作業しやすくなります。

デザインによってトリミングを工夫する！



POINT !

ベタの多いデザインと、細かい絵柄をトリミングした時を比べると細かいデザインの方が剥離が軽く感じます。それは接着剤がトナーとくっついている部分が多いか少ないかの差です。また、デザインの形状や配置によってもトリミングの方法を工夫して頂く必要があります。

トリミングの前に、柄によってトリミング時の剥離の重さや、状態を予測し、イメージトレーニングを行って下さい。

◆デザイン別 使用方法例◆

【ベタが多い場合のトリミング例】

丸や四角などのベタの多いデザインは、フレスの秒数を長める必要があります。またその近くに細かい文字などの柄がある場合、細かい柄の方からめくり始めると綺麗にトリミングし易いです。

ラミネーターに通します

180度回転させる

135℃で30秒フレス、180度回転させて再度30秒フレス。
細かい文字側から剥がす。

【背番号のような大きい数字のトリミング例】

背番号のような大きい数字がある場合、特に3や2などの袋小路になるような部分がある数字は、ラミネーターを通さない方が綺麗にトリミングが出来ます。

ラミネーターに通さない

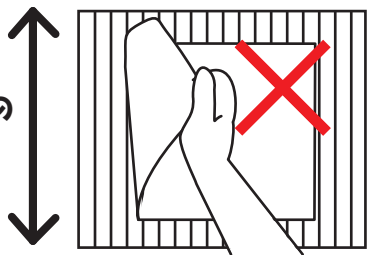
180度回転させる

135℃で30秒フレス、180度回転させて再度30秒フレス。

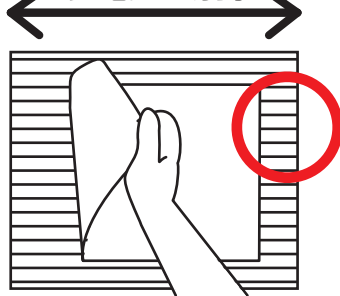
4. 布地へ転写する際のポイントまとめ

生地目に沿ってめくる

生地目の方向



生地目の方向

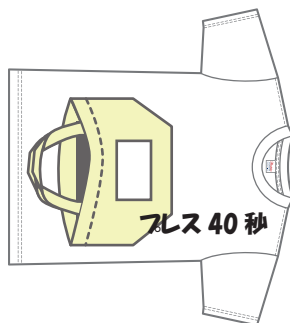
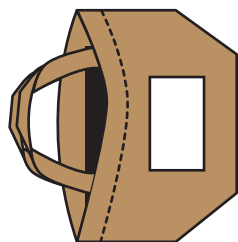
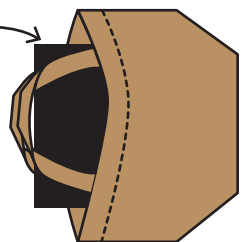


POINT !

転写後は生地目の方向に沿って剥がしていきます。
 生地目方向に逆らって剥がしてしまうと、生地を伸ばしながら剥がすため
 転写部分が欠けるなどのトリミング不良に繋がります。
 ※剥がしている最中に一部欠けるようであれば、台紙を元の位置に戻して、
 再度同じ秒数プレスしてください。

トートバッグなどの厚手の素材には、上にTシャツを乗せると剥離が軽く感じる

ラバー スポンジマット



OR



POINT !

トートバッグなどの厚手の素材は、
 空気を通しにくい為、上に薄手のTシャツ
 などを置き、空気を逃げやすくして
 あげる必要があります。
 そうすることで、転写後の剥離が
 通常よりも少し軽くなります。

①ラバー スポンジマットを中に入れ、
 マチの部分の段差を無くす。

②トリミングした転写紙を
 ずれないように貼る

③普通紙を上3枚ほど乗せるか、
 Tシャツを一枚上に乗せて
 40秒プレスする。(20秒.20秒で2回プレスするのも可)

薄手の素材は通常の秒数でプレス、厚手の素材は10秒程長めにプレス

生地が薄いので、熱が伝わりやすい



生地が厚い分、熱が伝わるのに時間がかかる



※ヘビーウェイトTシャツは、表面が起毛している為、
 しっかりと圧力をかけないと、奥まで接着剤が入りこめず、
 定着が悪くなります。

色を鮮やかにプリントしたい場合はヒートバリア1回、さらに鮮やかにしたい場合はヒートバリア2回

ヒートバリアは熱をゆっくり伝えて、生地凹凸に沿いながら押し込んでくれるから、プリント表面が傷まない



POINT!
ヒートバリアは熱をゆっくり伝える作用があるので、場面によってうまく使い分けましょう。

【色を鮮やかにプリントする方法】※特にイエローとの混色。赤・緑など



① トリミングした転写紙を乗せて



② その上にリキイ紙・フォースインペーパー-Sを乗せてプレス 35秒～



③ 転写紙の台紙を剥がしたら、フォースインペーパー-Sで再プレス。

【更に色を鮮やかにプリントする方法】※トレーナーなどの厚手の素材にも有効です



① トリミングした転写紙を乗せて



② その上にリキイ紙・フォースインペーパー-Sを乗せてプレス 35秒～



③ 転写紙の台紙を剥がしたら、フォースインペーパー-Sの上にヒートバリアを乗せて、35秒～再プレス。